

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

はくりよくの太川の滝

神山小 六年 佐竹 神満

七月二日に六年生全員と親で島回りにいき
ました。今回は、太川の滝まで行きました。
7時ぐらいに神山小学校を出発しました。ぼ
くは、心の中で「もうすぐしたら汗をたくさん
ながくかなあ」と思いました。8時半ぐらい
になると、思ったより汗がたかさんでてき
ました。最初の休けい場所は、八まん小学校
でした。そのときには、すでにつかれていま

した。十分ぐらいしたらまた出発しました。
中間らへんからたくと君やサすけ君たちとた
りました。西部林道に入ったらさるがでてき
そうで、ときどきしました。とちうで森の中
にさるがいてるをぼうってすぐにげました。
200mぐらいいダツシユしました。太川の滝が
見えてくると太川の滝の前の橋まで走って4
人で「セーノー」で手をうらないではいりました。
ぼくは「っや」とついたなあ」と思っ、てほっ
としました。川の音がザーザーと

No.

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

こえてきました。そのまま遠の見えるところ
 まであるりていきました。
 大川の遠を見たらいままでのつかれがふき
 とんちか感じがしました。大川の遠を見なが
 ら昼ご飯を食がました。きもちよかったです。
 しかもはじめてです。大川の遠は、遠の前に
 行くと水しぶきがたくさんできてきもち
 いです。そして遠の水が落ちる「ドドドド
 ドド」とゆう音もはくりよくまんてんです。
 いです。大川の遠は、日本の遠百千にえらば
 れていてかんこうさくもけっこうきていま
 す。大川の遠は、なんと上から水面までおん
 もあって屋久島の遠の中でいちばん大きな遠
 です。水しぶきがとんでるのでたまに、に
 じがでていてとてもきれいです。大川の遠は
 いつみてもきれいで日本のほかの遠にまけな
 いぐらいはくりやくがあります。
 ぼくは、いつまでも大川の遠が残って
 てほしいと思います。屋久島にきたらまず大
 川の遠をみにきてください。きれいですよ。

No.

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

